

平成30年度 第1回

茨木市都市計画審議会常務委員会
(立地適正化計画)

— 会議録 —

会 議 録

(敬称略)

会議の名称	平成30年度第1回茨木市都市計画審議会常務委員会（立地適正化計画）
開催日時	平成30年7月27日（金）午前10時15分開会・午前11時30分閉会
開催場所	市役所南館3階防災会議室
会 長	建山 和由
出席者	<p>[委 員]</p> <p>建山 和由、澤木 昌典、秋山 孝正、 神吉 紀世子、藤里 純子、木村 正文、 長井 順一 <以上学識経験者> 平田 義行、美濃部 慎子 <以上市民></p> <p>[専 門 委 員]</p> <p>紅谷 昇平、加我 宏之、肥塚 浩</p>
欠席者	鈴木 依子
事務局	大塚副市長、岸田都市整備部長、福井都市整備部次長兼都市政策課長、 砂金都市政策課参事、新開都市政策課推進係長
議題（案件）	・茨木市立地適正化計画（素案）について
傍聴者	2名

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○事務局	ただ今から平成 30 年度第 1 回茨木市都市計画審議会常務委員会を開会する。開会にあたり、大塚副市長からあいさつを申し上げる。
○大塚副市長	(あいさつ)
○事務局	<p>本日の出席状況であるが、委員総数 13 名のところ、現在の出席者は 11 名となっており、茨木市都市計画審議会常務委員会運営要領第 4 条第 2 項の規定により、本日の審議会は成立している。なお、加我委員からは遅参の連絡をいただいている。</p> <p>また、昨年度まで都市計画審議会の市民委員を務められた川本様には、引き続き様々な意見をいただきたく、オブザーバーとして参加をお願いしている。</p> <p>なお、本日は 2 名の方が傍聴されている。</p> <p>それでは、茨木市都市計画審議会常務委員会運営要領第 4 条により、以後の委員会の進行を、建山会長にお願いする。</p>
○建山会長	<p>昨年度は常務委員会を 3 回開催し、都市計画審議会も含めて多くの意見を頂いたので、それぞれの意見が反映された素案となっているが、細部まで見渡すとまだまだ直した方が良い点もあるだろうと思う。できるだけ各委員の納得が得られるものに仕上げていきたい。それでは議事に入るが、今後の見通しをもって議論を進めていくため、まず資料 3 の今後の予定から確認したい。</p> <p>(福井課長：資料 3 について説明)</p>
○建山会長	<p>8 月に住民説明会、9 月にパブリックコメントを実施するので、本日はそのための原案を検討するということである。</p> <p>では第 3 回常務委員会、第 1 回都市計画審議会で出された意見を踏まえて修正した素案を事務局より説明していただく。</p> <p>(福井課長：資料 1、資料 2 について説明)</p>
○建山会長	お気づきの点があればご質問、ご意見をいただきたい。
○藤里委員	資料 2 の P76 の【取組 12】に、自転車の「交通ルールやマナーの啓発活動を行うなどの取組み」とあるのは評価できる一方で、P31 の【『4 交通』から導かれる現況】には「徒歩や自転車による通行環境づくり」としか書かれていない。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>茨木市は比較的自転車のマナーが悪いと感じており、スマホをしながら自転車を運転している人、そこに通勤時間帯は車も混在して走るとい う状況をよく見る。また、高齢者が運転免許証を返上して自転車で走る ケース、小さい子どもを乗せて走るケースなども増えている中で、茨木 は狭隘な道も多いこともあって、自転車と歩行者の接触の危険がある。 その注意喚起という意味で、P31 の最後の文章は「徒歩による通行環境 づくりや、また自転車による通行環境づくり」など徒歩と自転車を明確 に区別する形で記載するとともに、この部分でも「交通ルールやマナー」 について触れてほしい。</p>
○建山会長	<p>高齢者が増え、素早く動けない人が歩いている中を自転車が走るのは 事故が起こりやすい環境なので、そうならないような工夫をすることは 基調に置くべきだと思う。その視点で文章を見直していただきたい。</p>
○福井課長	<p>表現を工夫させていただく。</p>
○長井委員	<p>P59 の【居住誘導区域】に水害のリスクを入れることに関して、先日 の西日本豪雨では倉敷でハザードマップに示された地域がまさに浸水 し、死者が出たことを考えると、「そのため～一定のリスクを認識する とともに災害への適切な備えが～」というだけではなく、緊急時は避難 行動を起こしてもらうことも明記した方が良い。居住誘導を否定するも のではなく、計画想定以上の雨量もあり得るので、緊急時の避難行動を 指示する表現は必要だという趣旨である。</p> <p>それから、P46 の【『8 災害リスク』から導かれる現況】の2つ目の 前段は事実だが、後段の「～計画的な河川整備や降雨・河川水位の観測 体制の構築により事前の避難が可能」という記述はP59 の内容と整合し ていないのではないかと。</p>
○建山会長	<p>「安全・安心」は一つのフレーズとしてよく使われるが、「安全」は 大事でも「安心」はしてはならない時代かもしれない。それを踏まえて 見直してほしいという意見である。</p>
○紅谷委員	<p>防災の視点からの意見だが、P59 は基本的にこの表現で良いと思う。 「備え」という表現には避難や避難準備に加え、要配慮者がいる場合の 避難の体制整備や、水害保険に加入するなどの事後対策なども含めて広 く捉えられるのではないかと。</p> <p>P46 は長井委員のご指摘のとおりで、事前に避難が可能かどうかは市 民の方の問題が大きい。西日本豪雨でも気象庁は相当に大雨情報を出し ていたが、人々が動かなかったので、市民の防災教育を進めるところか</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ら始める必要があると思う。
○福井課長	P46 は「観測体制の構築」だけで「避難が可能」とも読めてしまうので、P59 の内容等も踏まえながら表現を改めたい。
○秋山委員	P60 の図は除外区域の存在を示していると思うが、その部分が白抜きになっているので示し方が逆のように感じる。防災面を考えて、除外したことが分かるような表示をしてほしい。
○福井課長	除外する区域を示すというよりも、居住誘導区域がどこかを示すための表示としている。
○秋山委員	防災のことを考えると、除外区域をつくったことが最重要ではないか。
○紅谷委員	実は、防災は白抜きされておらず、注記対応となっている。
○福井課長	P42 の図に急傾斜地崩壊危険区域や土砂災害警戒区域等を示しているが、細かく点在していて図面上で分かりにくいので、注記にしている。
○建山会長	各区域を明示するために提示した図という理解で良いかと思う。
○秋山委員	次に P58 の公共交通結節点に関する記載についてだが、すべてを一括して拠点としての機能を書いている。同じ交通結節点であっても役割分担があると思うので、それぞれの位置づけが分かるようにならないか。
○福井課長	ご指摘のとおり、JR 茨木駅や阪急茨木市駅周辺は、都市計画マスタープランでは「都市拠点」という市の中心拠点と位置付けられている。また、阪急南茨木駅や総持寺周辺は「地域拠点」という位置づけで、マスタープラン上も性格が違う。
○秋山委員	「都市拠点」や「地域拠点」といったキーワードを入れていただくと良いのではないか。
○福井課長	ご指摘のように修正を考えたい。
○秋山委員	また、【取組 13 移動困難者への最適な移動支援策の実施】の「移動が困難な場合」は、介護・福祉の関係に近いように思うので、福祉交通

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>のような議論も書いておかなければ関係が分からないと思う。</p>
○建山会長	<p>施策としては交通施策のところに入っているが、福祉施策の方に入れた方が良いという意見か。</p>
○秋山委員	<p>【取組 13】の位置付けが分かりにくいということである。</p>
○建山会長	<p>【取組 13】を取組として位置付けた意図は何か。</p>
○福井課長	<p>高齢者がバス停までの移動が厳しい状況を想定し、そういう方への対応というのが意図である。これから高齢化社会が進む中で、バス路線の維持だけではなく、バス停までの移動が困難な人に対する支援も考えていかなければならないということで、あくまでも公共交通という視点であり、福祉的な視点はあまり念頭に置いていない。</p>
○事務局	<p>総合交通戦略を策定する中でも議論があったことだが、茨木市の山手台や春日丘等の高低差のある地域に住む人は、バス停まで勾配のあるところを歩いて行かなければならないという困難があるので、支援が必要ではないかという問題意識もあった。</p>
○秋山委員	<p>取組名が「移動困難者」となっていると、福祉交通という別のカテゴリーの議論となるものの、有償運送などの議論が抜けているので違和感があるのだと思う。</p>
○建山会長	<p>「移動困難者」という言い方が適切ではない。道路や地域性で問題が生じているというのが問題意識かと思うので、その点が分かりやすいよう表現を検討してほしい。</p>
○福井課長	<p>表現を改めたい。</p>
○秋山委員	<p>最後に、P86 の評価指標で「公共交通のカバー率」は利用可能性という意味では必要だが、利便性の高い公共交通になっているかどうかは可能性だけでは分からない。活用の実態や、あるいはコンパクトシティ的なものが機能しているかどうかを示す指標はないのか。本当に役立っているかどうかはこの指標では分からない。</p>
○建山会長	<p>具体的な指標の提案はあるか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○秋山委員	指標でなくとも、数年後に成果報告をする際に変化や質が分かるような補足資料があると良いのではないか。
○建山会長	例えば、満足度のようなものか。
○秋山委員	アンケートを取るとそのようになるかもしれないが、やはり利用実態を出すことが必要だと思う。
○福井課長	利用実態として、バスの乗降客数を把握することは可能だと思う。
○建山会長	この指標は国土交通省が示している指標なのか。
○福井課長	国土交通省からは、「人口密度に関する指標」と、「公共交通に関する指標」を入れるようにということである。例えば、公共交通の乗降客数を「公共交通に関する指標」として位置付けることも問題はない。
○建山会長	今の指標に追加しても構わないのか。
○福井課長	追加すること自体は問題ないが、ご指摘の点をどのような形で盛り込めるか、検討させていただきたい。
○建山会長	市民にとって公共交通のカバー率は重要になるので、このままで良いと思うが、それに加えて利用実態も反映されるような指標を入れてはどうかというご指摘かと思う。
○福井課長	指標は現状の設定案を基本として、補足的に利用実態の把握等を行うという方向で検討していきたい。
○建山会長	指標以外のところで、上手く利用されているかどうか分かるような観点を加えてはどうかという意見だと思うので、検討していただきたい。
○神吉委員	人口密度と公共交通の指標については、居住エリアを縮める立地適正化計画であれば、公共交通と関係のないところで人口密度が上昇することは、新規開発と同じなので望ましくなく、公共交通のあるところに人口密度が高まることを期待されていると思う。 ただし茨木市は、今は上手くいっているからそれを維持するという将来構想で、国のイメージと合わないところがあるので、指標としては、データを1つずつ見るのではなく、指標①と指標②を突き合わせてチェ

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ックするという視点を入れると良いのではないか。</p> <p>例えば古い家が多い地域の、公共交通の便利なところでスポット的に人口密度が下がるような事態を防ぎたいという意向であれば、それらの分析を想定してクロス集計を行う等、そういう方向で作業をするイメージがあると良いのではないか。</p>
○建山会長	<p>秋山委員の指摘と同じで、個々の指標単体ではなく、総合的に分析して評価することが必要だということである。</p>
○神吉委員	<p>今回の地震で、ある時代に建てられた建物で集中的に屋根瓦が外れ、古い家に慣れ親しんでいた人も不安を感じ始めており、修理して長持ちさせる人がいる一方で、建替えようとする人も出てくると思う。P78の【取組 18 良質な住宅ストックの維持・形成】は大きなテーマで、古いストックが経年劣化しないように適切に管理していくことが基本ということで良いが、茨木市の場合、バラエティに富んだ住宅が特長なので、住宅ストックのタイプが偏らないようにという意識を持っていただきたいと考えている。</p>
○福井課長	<p>クロス集計等は、立地適正化計画に記述するのは難しい面もあるが、指摘いただいた点は重要なので、市の現状把握のためにどこまでできるかを検討していきたい。</p> <p>住宅ストックについては、これからの時代を考えた時、いろいろな住宅のタイプをバランスよく残すことは重要になると思う。ただ、居住マスタープランの策定も進めており、整合を図る必要もあるので、記載内容については検討したい。</p>
○秋山委員	<p>多様性というワードを入れてはどうか。</p>
○神吉委員	<p>そこが、隣の高槻市とキャラクターが違う点だと思う。</p>
○建山会長	<p>他地域は新しいマンション等が増えている中で、茨木市は昔からの住宅やいろいろな住み方が残っているので、それを維持していこうということである。その趣旨を文章に入れるのは難しいと思うが、方向性としては理解していただけたらと思うので、それが活かされるように検討していただきたい。</p>
○澤木委員	<p>内容はいいと思うが、これからパブリックコメントが行われることを踏まえると、P61～P66の誘導区域の部分を見ると、P61に区域の設定ま</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○建山会長	<p>で文章が書かれているが、その他のページはエッセンスだけで文章による説明がない。これでは言いたいことが市民に伝わらないので、文章を入れて内容を解説するような工夫をしていただきたい。</p> <p>確かに、これでは不親切である。特に第4章はそういう傾向があるので、第4章全般にわたって、市民が理解できる内容になっているか、確認していただきたい。</p>
○肥塚委員	<p>P22の【医療施設の立地条件】は「郊外部などでは施設数が少なくなる傾向にあります」というネガティブな言葉で終わっており、読む人を不安にしないか。それ以降の部分で郊外部に特化した議論は展開していないので、バランスのとれた表現を工夫していただきたい。</p>
○加我委員	<p>郊外部に関しては、P51に「みどりを感じるゆとりある暮らし」として、北部地域等のみどりがゆとりある暮らしにつながっていること、またP74に【施策2】の取組8～10で、公園・緑地・森林等のみどり空間の保全・活用、里山や農地等による郊外部を中心としたみどりの充実、さらに北部地域の魅力向上等を示されている。</p> <p>そこで、都市機能誘導区域内の都市魅力向上のなかでも、元茨木川緑地のリ・デザインの議論や、みどりストックの活用も大きな取組として入れて良いのではないか。</p>
○福井課長	<p>元茨木川緑地は中心市街地にあるので【施策8】の【取組23】に位置づけているところである。</p>
○加我委員	<p>確かにこちらに入れた方が、中心部の魅力という点で分かりやすいかもしれない。</p>
○川本氏	<p>P22【医療施設の立地状況】について、以前は診療所や病院の定義を注意書きとして載せていたと思うが、今は書かれていないので、書いてほしい。また、歯科についてはこのページの医療施設からは除外していたかと思うが、その旨も記載されると分かりやすいと思う。</p>
○福井課長	<p>立地適正化計画上の診療所と病院の定義は、P15に記載している。歯科を除いていることについての記載は現状ないため、その旨を明記したい。</p>
○木村委員	<p>P71の【施策5】の【取組19 地域主導のまちづくりの支援】につい</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>て、自主防災等に関する記載もされているところだが、P44でも掲載されているハザードマップの内容を知らない人もいる中で、基本方針等において「自主防災」を位置付けられてはどうか。</p> <p>地域コミュニティは人と人のつながりや魅力を向上させるだけではなく、防災力向上にもつながるということを強調してほしいという趣旨であり、暮らしやすさのイメージの【イメージ4】には、防災も含めて取り組んでいくという点が入った方が良いと思う。</p>
○建山会長	<p>【施策5】の【取組19】で地域コミュニティ力醸成の支援の中により大きく位置付けるか、取組を1つ付け足して自主防災の取組を活性化する等を盛り込まれてはという意見である。</p>
○木村委員	<p>そうした方が、住民も地域コミュニティの中で自主防災の意識を持ち、ハザードマップも見られるようになるのではないかと。避難情報が出てから知ったのでは遅い。</p>
○建山会長	<p>自然災害が激化する中で、この中にも防災力の強化というところがあっても良いというのはご指摘のとおりだと思います。</p>
○木村委員	<p>すでに【取組19】の中で挙げられているので、より強調して力を入れて取組をできるように、暮らしやすさのイメージ等の中に入れていただければと考えている。</p>
○福井課長	<p>【『暮らしやすさ』のイメージ】若しくは【基本方針】に防災の観点も入れて、より意識できるようにするというのであれば、【基本方針】の中の一つの項目として盛り込む方向で検討したい。</p>
○建山会長	<p>それに加えてP71右側の表の中において、【取組19】が自主防災を含めた取組であることが分かった方が良いかもしれない。</p> <p>多くの意見をいただいたので、住民説明会に向けてかなりの修正があるが、よろしくお願ひしたい。委員の方々も個別の相談に際して、協力をお願ひしたい。</p>
○神吉委員	<p>これから住民説明会に行かれる場合、このタイミングで立地適正化計画の話だけを市役所が持って行くと怒る人がいるのではないかと。全市行脚の機会と捉えて、市役所の中で何かタイアップして、皆が来てくれるような地域行脚の仕方を考えた方が良いのではないかと。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○建山会長	確かに今は微妙なところがあるので、検討した方が良くかもしれない。計画を押しつけるのではなく、住民の意見を伺うというスタンスで回っていただくことと、災害リスクに関する部分は特に意見をいただくようにした方が良くと思う。
○福井課長	それも含めて、計画内容をそのまま説明しても分かり難いと思うので、説明の仕方にも工夫が必要だと思う。住民説明会の内容や方法は検討したい。
○建山会長	特に基本的な姿勢や考え方が大事だと思うので、その点はしっかりと伝え方を工夫していただきたいと思う。 その他意見等はないか。 (意見なし)
○事務局	今後の予定について、次回の都市計画審議会は平成30年8月27日(月)13:00～開催予定であり、開催通知にて別途詳細をお伝えする。また、次回の常務委員会は10月末頃の開催を予定しており、追って日程依頼をさせていただきます。 <p style="text-align: right;">(午前11時30分閉会)</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項